

主体的表現による図画工作の学習指導について

—提案の言葉の工夫の試み—

福田隆真 嶋田千鶴*

On Learning Processes by Subjective Expression in Art Education of Primary School
— a case study of proposal words —

FUKUDA Takamasa and SHIMADA Chizuru

(Received November 19, 1993)

キーワード：図画工作 主体性 提案の言葉

はじめに

新しい教育課程では、学習指導に関して、児童・生徒の主体性に重点をおいている。従来の教師指導型の学習過程ではなく児童・生徒中心の学習過程である。図画工作科・美術科においては、教科の特質として児童・生徒の個性や創造性を育成するという内容により、主体的な学習過程を重視してきた。

本稿では児童・生徒の主体性の啓発のために「提案の言葉」を設定し、教師と児童・生徒の支援の関係に介在する言葉の対応に着目して、教材研究を試みた。

1 教育課程と図画工作科の関連

学習指導要領の改訂にともなって、新しい教育課程をもとに各教科の内容や学習がすすめられてきている。教育課程の改訂の基本的な考え方には、激しい社会の変化に対応できる子どもの資質の育成と、新しい文化の創造の担い手となる人間の育成がある。そのために、個性を生かす教育、自己教育力の育成が理念としてあげられている。これらの理念の具体化として、「基礎・基本の指導の工夫と個性を生かす教育の推進」「社会の変化に主体的に対応できる能力の育成」「内発的な学習意欲の育成」「学習指導への教師のかかわり方」などがあげられている。

図画工作科の教育では、従来から個性の教育や主体的な取り組みなどは実際の授業を通して行われてきている。新しい教育課程では、基礎的・基本的内容を重視することと個性を生かす教育とは表裏一体のものとして捉えられている。基礎的・基本的内容は児童の自己実現のための基盤となるものであり、その基盤の上に個性の発揮があると考えられ

*福岡県飯塚市立伊岐須小学校

る。また基礎的・基本的内容は学習指導要領で示されている教科の目標と内容の総体を意味するものであり、知識、技能、能力、態度等全てを含んでいる。

そのことから考えると、図画工作科の目標は「表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な創造活動の基礎的な能力を育てるとともに表現の喜びを味わわせ、豊かな情操を養う」とされるように、従来からの大幅な変更はみられない。むしろ、基礎的な能力ということが明示されており、造形能力を育成することが強調されているとも理解することができる。本来、造形活動は主体的で自主的な活動であり、それに至る興味や関心が重要であり、それにとまって表現するための技術や技能が必要である。新しい教育課程では造形活動の能力を教師の柔軟な対応によってすすめるようとしている。

例えば、造形遊びの題材などは材料からの児童の自由な発想によって創造的に表現することを目的とした教材である。しかも制作の結果である作品が目的ではなく、制作過程での工夫や技能の習得が目的であり、表現の喜びを味わわせることが本来の目的である。学習指導は児童の思考力や判断力、表現力を重視して、個々の児童が各々の表現をすることを援助、支援する形をとることが望ましい。従来から図画工作科の個々の題材は一つの主題から多様な作品が予想される特性をもっているが、児童の主体性を重視することから、一対一対応ではなく、一対多対応の学習指導がなされることが望ましいと考えられる。

2 「提案の言葉」について

提案の言葉とは、教師からの説明や指示ではなく、児童の主体的な表現活動を誘い出し、表現の意欲を連続させ、表現活動にこだわらせるような言葉の投げかけであり、児童の表現活動を励まし、支援するものである。

学習過程を「出会い」→「発想」→「構想」→「表現」→「鑑賞」で構成して、次のような項目に関して、提案の言葉を考慮することにより、児童一人一人が自分の思いをもとに、思考、判断を繰り返しながら主体的に表現活動ができると考えられる。

- (1) 表現活動を誘い出す提案の言葉
- (2) 表現活動にこだわらせる提案の言葉
 - ・材料から発想をふくらませる提案の言葉
 - ・操作イメージを鮮明にさせる提案の言葉
- (3) 表現活動の視点を変える提案の言葉
- (4) 視覚的キーワード
- (5) 表現活動を励ます提案の言葉

これらの5つの観点による提案の言葉について以下に具体的に考えてみる。

(1) 表現活動を誘い出す提案の言葉

これは題材と児童との出会いとなるものである。したがって、一人一人の児童の思いをふくらませ、広がりのある表現活動を展開させるような適切な動機付けとなるものでなくてはならない。そのため、児童の生活体験、興味、関心、発達段階を考えて、授業前に十分工夫しなくてはならない。(図1参照)

(2) 表現活動にこだわらせる提案の言葉

材料から発想をふくらませる提案の言葉は、材質の感じ方、つくりたいものを思いつくなどを児童自身の力で獲得させるための言葉である。そのため、表現活動を誘い出すような言葉でなくてはならない。

操作イメージを鮮明にさせる提案の言葉は、切る、折る、結合するなどの児童の表現活動に不可欠なものである。それらの操作のための用具を選んだり、材料を探したりなどの思考、判断を繰り返すような提案の言葉によって、児童の操作に対するイメージ（操作イメージ）を鮮明にすることができると考えられる。操作イメージと巧緻性は転移するものであり、手先の技巧に限定できないものである。（児童ははさみを使えるから使うのではなく、「切る」という操作イメージからはさみを使うことを選ぶ。）（図2参照）したがって、操作イメージを鮮明にすることは、創造的な技能の習得につながるものである。

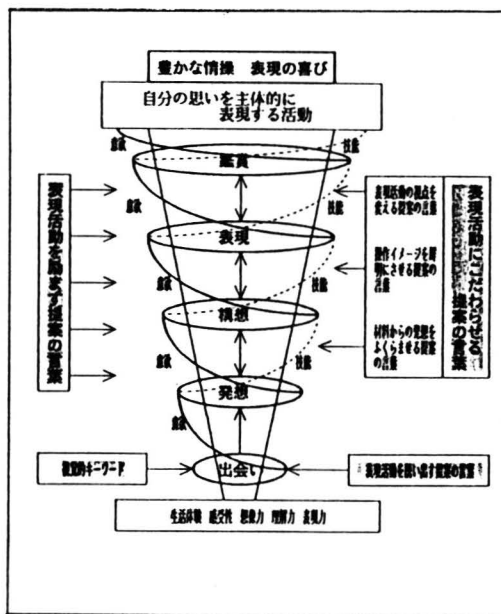


図1 主題の構想

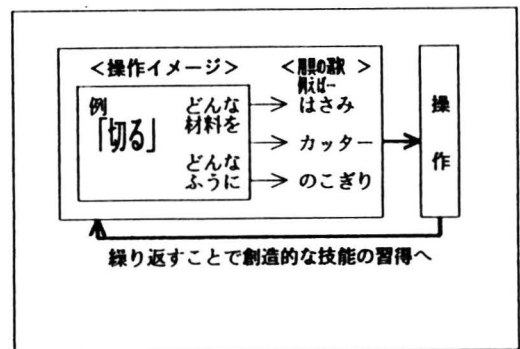


図2 造形に活動における操作の構造

(3) 表現活動の視点を変える提案の言葉

教師が意図する表現活動を直接的に指示するのではなく、児童一人一人の思いにあった表現方法や、用具、材料などを児童自ら思考させ、判断させるような方向性をもつ言葉であるとえられる。

(4) 視覚的キーワード

ジェローム・ブルーナーは『認知能力の成長』の中で「知的作業を処理する手段は、年齢とともに視覚的なものから言語的なものへと移行する」^{注(1)}ということを6歳児と8歳児の違いを例にとって述べている。十分に発達した言語体系をもちながら視覚的イメージを利用することが多い低学年においては、点、線、形、方向、明暗、色、テクスチュア、大きさ、奥行き、運動などの視覚言語や、それを使った単純な参考作品などの視覚的なアプ

ローチ（視覚的キーワード）が、児童の思いを広げることに對し、より明確な刺激となると考えられる。したがって視覚的キーワードを工夫し、提案することで、児童一人一人がスムーズに発想のきっかけをつかむことができる。

(5) 表現活動を励ます提案の言葉

フランツ・チゼックは、「美術教師の役割は創造的雰囲気をつくることであり、そのために愛、安心感、重要性が必要である」と述べている。^{注(2)}

児童一人一人が安心して自由に表現活動を展開する創造的雰囲気をつくるためには、表現の過程において、その子なりに思いついたことを試みることを励ましたり、必要に応じて児童の思いが生きるような提案をするなど、児童が自信をもったり、意欲を高めていくような支援をする配慮が必要である。^{注(3)}

したがって、教師は児童一人一人の表現活動を見守り、個に応じた温かで適切な励ましの言葉を工夫することによって、児童一人一人が自信と意欲をもって、自分の思いを主体的に表現していくことができると考えられる。

3 提案の言葉による教材例 ー第6学年「100億円の建物」ー

ここでは、前述のような学習過程に即して、具体的題材として「100億円の建物」の実践を通して、学習過程と提案の言葉との関係について考察する。

(1) 題材について

本学級では、給食のジュースやノートが入っていた段ボールの空き箱などを捨てる時、「もったいないね」「何かに使えないかな」「これは木をたくさん切って作ったのに」といった会話を交わす児童の姿がしばしば見られる。環境問題について意識しはじめたこの時期の児童にとって、本来の役割を終え、処理されようとしている段ボールや廃材を使って作品を作ることは、興味深い体験になると考えられる。

本題材では、児童が家庭や地域から集めてきた段ボールや廃材などを使って、児童一人一人の思いをもとに好きな建物を作る。「出会い」の段階では、「100億円」という法外な値段をキーワードとして提案することで児童の思いを拡げ、「表現」の段階では、「地震、台風」というキーワードから丈夫な接着や加工などの操作の工夫や試行錯誤を促すことができると考えられる。

(2) 題材の目標

- ・段ボールや廃材などを使って、好きな建物を自由に作る楽しさを味わうようにする。
(情意面)
- ・イメージした建物を、段ボールやいろいろな材料を組み合わせて制作するようにする。
(造形面)
- ・材質に合った材料や用具を選び、加工や接着を工夫するようにする。(技能面)











(3) 指導計画

表1 指導計画

学習過程	提案の言葉	ねらい	目指す活動	情意面での目標	評価方法
出会い／共通化10分 表現課題の提示 話し合い	<p>みんな一人一人誰もが天才デザイナーです。今あるところから、こんな注文が来ているのですが <活動を創り出す言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動への意欲を喚起し題材に興味をもつようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材に興味をもつ。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○題材に興味をもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加の様相 ○SD法 ○感想文 ○VTRの統一的利用
	<p>依頼書 新しい惑星発見！この星にみんなが遊びに来ることができる新しい町を建設したいんだ。そこでその町の建物を一つ100億円でつくってください。 <活動を創り出す言葉キーワード></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○キーワード「100億円」から、活動への意欲をもち、建物への思いをふくらますようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○キーワード「100億円」から活動への意欲をもち、建物への思いをふくらます。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら表現しようとする意欲をもつことができる。 	
	<p>TP ・惑星の全景 ・惑星の近景</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○立地条件 ・地球に似た小さな惑星 ・広々とした荒野を提示し、つくりたい町を想像し建物のイメージをつくるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○立地条件を把握し、つくりたい町を想像し、建物のイメージをつくる。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら表現しようとする意欲をもつことができる。 	
	<p>土地はこの広さ。(台紙の厚紙の広さ)ここの上に建ててください。 <活動を創り出す言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○指定された広さから実際に作る建物の大きさをイメージし「建てる」という言葉から、表現方法の見通しを立てるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定された広さから建物の実際につくる大きさをイメージし「建てる」という言葉から、材料や表現方法の見通しを立てる。(立体で表す) 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら表現しようとする意欲をもつことができる。 	
発想 構想 表現 個性化330分	<p>この町にどんな建物があるといいかな。 <活動を創り出す言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○思いをふくらますようにする。(具体化) 	<ul style="list-style-type: none"> ○建物の用途や特徴を想像し、イメージを具体化する。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら表現しようとする意欲をもつことができる。 	
	<p>この星はね。地震がくるところもあるし、台風がくるところもあります。 <操作イメージを説明する言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○丈夫な接着や加工を工夫するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品の丈夫さを確かめたり、改善したりする。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しんで材料や用具を集めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○参加の様相 ○SD法 ○感想文 ○VTRの統一的利用
	<p>今、何億円くらいのねうちですか。 <活動の視点を変える言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○美しさや楽しさを考えて、形や色を工夫するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○装飾や仕掛けを工夫したり、改善したりする。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○段ボールなどの材質の面白さを体験し、楽しく表現活動することができる。 	
<p><活動を創り出す言葉> (個に応じた段階、内容で)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動に集中し、意欲が持続するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽しく、意欲的に活動する。励まし合って活動する。 〔意欲の創出〕 			
鑑賞／客観化20分	<p>友達に建物を遊びに行きましょう。 <活動を創り出す言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○活動を賞賛し次の学習への意欲づけをするとともに、友人の表現を認めさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友人の工夫点やよさを認めようとする。 ○自分や友人の作品を大切にする。 〔意欲の創出〕 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分や友人の工夫点やよさを認めることができる。 ○自分や友人の作品を大切にすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作品カード ○SD法 ○感想文 ○VTRの統一的利用

(4) 代表児のプロフィール

表2 代表者のプロフィール

観 点		A児	B児	C児		
図工科学習に関する好嫌感(好き 嫌い)		○	△	△		
好きな活動	絵で表す	○	×	△		
	立体で表す	○	○	×		
	つくりたいものをつくる	○	○	○		
	鑑賞	○	×	○		
造形表現の傾向 A C	発想や構想の能力(動かし-移る)	A	B	C		
	対象のとらえ方 (よく見る-見ない)	B	B	B		
	色彩・形の感覚(似-離)	A	B	C		
	丁寧さ(丁寧-雑)	A	B	C		
造形に対する態度 A C	材料・用具の準備 (できるか)	A	B	B		
	題材への関心 (あるか)	A	A	C		
	集中力・根気強さ (あるか)	A	B	C		
	観賞力 (あるか)	A	A	C		
造形的発達段階	木の入ったコップの絵(断面と 木目の斜め影のまじり)					
	まっすぐな線がずっと通くまで 描いていく両側に電柱がた くさん並んでいる絵(遠近感)					

(5) 授業の実際

表3 授業の実際（その1）

提案の言葉	児童の反応		
	A児	B児	C児
<p>みんな一人一人誰もが、天才デザイナーです。今、あるところからこんな注文が来ているのですが…。 <表現活動を誘い出す提案の言葉></p>	<p>○熱心に話を聞いていた。</p>	<p>○熱心に話を聞いていた。</p>	<p>○あまり話を聞いていない様子。</p>
<p>TP 依頼書 新しい惑星発見！ この星にみんなが遊びに来ることができ 新しい町を建設したいんだ。そこで、その町の建物を、一つ100億円で作ってください。 ドラえもんより <表現活動を誘い出す提案の言葉></p>	<p>「100億円ほんとにももらえたらいいね。」</p>	<p>「安い。もう少し高くして。ぼくのは1米円くらいいるね。」</p> <p>○「建物しかいけないんですか。」 授業前に教室に集まった材料で遊ぶうちに、つくりたい乗り物を想像していた。</p>	
<p>TP・惑星の全景 ・惑星の近景</p>	<p>○TPをよく見て惑星の様子をとらえようとしていた。</p>	<p>○TPをよく見て惑星の様子をとらえようとしていた。</p>	<p>○TPに注目し、身を乗り出して見始めた。 「にぎやかなのをつくらせよう。」</p>
<p>土地はこの広さ。 (台紙の厚紙の広さ) ここの上に建物を建ててください。 <表現活動を誘い出す提案の言葉></p>			
<p>この町にどんな建物があるといいかな。 <表現活動を誘い出す提案の言葉> 「では、始めよう。」</p>	<p>○「お店！」</p> <p>○すぐに用具、材料を確保しに行く。立てても倒れてしまわないような固いダンボールを探す。</p> <p>○ダンボールをきのこの形に2枚切り取り台紙に立てて木工用ボンドで接着する。側面から天井を片面ダンボールで覆う。</p>	<p>○「乗り物がいい。」とつぶやく。</p> <p>○しばらく考えていたが、気に入った建物のコピーを思い付いて、すぐに材料確保に向かう。</p> <p>○一面が広いダンボールを集めて、その上に展開図をかき始める。</p> <p>○展開図づくり熱中没頭する。</p> <p>○軒にあたる部分の製図が旨くいかず、相談にくる。試しに別の紙に作ってみるよう指導したが、展開図の前で考え続けていた。</p>	<p>○すぐに用具、材料を確保しに行く。発泡スチロールの塊を見付けてくる。その形を「駅」に見立てる。</p> <p>○発泡スチロールを台紙の上にいろいろな角度で据えてみる。</p> <p>○片面ダンボールを帯状に切って線路をつくる。</p> <p>○発泡スチロールを細かく砕いて、スチロールボンドで台紙に貼っていく。「これは砂利石。」</p> <p>○「先生、もっとしたいな。あと何時間ありますか。」と質問しに来た。</p>

表3 授業の実際（その2）

<p>この星はね。地震がくることもある。台風がくることもあります。 <操作イメージを説明する授業の言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「きのこハウス」の屋根が、台風のとき危ないと思い、ゆらしてみると屋根がとれたので、ボンドをつけて固定した。 ○前日の日曜日に竹はし、スチロールバックなど新しい材料を集めてきていた。 ○「きのこハウス」の住人をつくる。 ○だんボールに展開図をかき、浅い箱をつくって台紙に貼り付け、「プール」をつくる。 ○中に青い色紙を裏返したものを敷き色マジックで波をかく。 ○スチロールバックを組み合わせ「薬局」をつくる。「薬局」とすぐにわかるように絆創膏を貼って飾りにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ○台風よけのバリアーをつくろうと思っていた。 ○軒の部分の折り返しの重なりは、45度の切り込みを入れることで解決した。 ○45度をどうつくるかで悩んでいたが、他の紙に試すことによって、正方形の対角線を切り込めば45度の切り込みになることに気付く。 ○「10000分の1の縮小図」と友人に説明しながら展開図に取り組む。 ○ほとんどの児童の作品は大まかな形ができていたが、あせらずマイペースで展開図をかき続ける。○屋根の部分の展開図ができる。 ○壁の展開図をかく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○台紙をさかさまにししたり、横にししたりして、接着の丈夫さを確かめていた。 ○発泡スチロールの箱を2段に重ねて接着する。 ○セロハンを斜めに貼り、大きな窓をつくる。「太陽を反射する窓」 ○乗客が待たための椅子を、発泡スチロールを切って組み合わせてつくる。 ○駅の看板を付ける。「長野君の駅だから長野駅。おれの駅。」 「この駅は未来。リニアモーターカーが走ってる。」
<p>今、何億円くらいのねうちですか。 <表現活動の視点を養える授業の言葉></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○入口に看板を立て、その両側に笑顔のお花をつくって、お客さんを出迎えさせるようにする。花はカラフルな色紙でつくられている。 ○「きのこハウス」の横に電灯をつける。竹はしを立て、黄色のつやがみで上部を覆い、ひもでしばったもの。 ○プールの横にだんボールで壁をつくり、「受付」をつくる。 ○水面の波の感じと透き通った水の感じを出そうと青いセロハンを用意してきた。「セロハンにのりをつけてたらしわしわになってプールの水の感じになるなあと思って。」 ○「薬局」に水彩絵の具で着色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○展開図を切り取る。とてもうれしそうな表情をしていた。 ○屋根の部分を折る。カッターナイフで傷を付けて折っていたが、その部分が弱くなるので、折り目の裏側に木工用ボンドを付けて補強していた。 ○組み立てる。2階の屋根に壁をはめ込み、組み立てていく。「先生、計算したかいがあったよ。寸法ばっちり！」 	<ul style="list-style-type: none"> ○向かい側にデパートを建て、片面だんボールで半円筒形の屋根をつける。バランスを考えて、大きさを何度も試していた。 ○芝生をつくるため、荷造り用のひもを丸めながら台紙に貼ろうとするが、きれいに貼れなかったことと、色が気に入らなかったことからやめることにする。 ○緑色のセロハンで芝生をつくる。 ○デパートにアンテナを付ける。 ○大まかな形ができたので、100億円らしく飾るための細かい材料を探す。「針金使おうかな。」
		<p>設計図通りに成功したね。台風も心配いらなね。 <表現活動を促す授業の言葉></p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ○1階部分の展開図を切り取る。真剣な表情をして、活動に集中していた。 	

表3 授業の実際（その1）

	<p>○24色のマジックで屋根の片面だんボールの凹凸に一本一本違う色でストライプを入れていく。虹のよないろどりの屋根に変わる。</p> <p>○色紙のブロックを敷きつめてカラフルな道をつくる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>楽しい色ですね。うきうきしてくるね。 〈表現活動を促す言葉〉</p> </div>	<p>〈放課後〉</p> <p>○発泡スチロールをけずって車をつくる。「友ちゃん2000号だ。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どんな車になるのか楽しみだね。「金じゃ銀行」の開店日が待ち遠しいね。 〈表現活動を促す言葉〉</p> </div> <p>「先生、おうちでいいの考えてくるね。」</p>	<p>○発泡スチロールでもう一つ椅子を作る。「先生の椅子もつくてあげるね。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>そうちゃんと一緒に旅行に行けるね。うれしいな。 〈表現活動を促す言葉〉</p> </div> <p>○自分と友人と担任の人形を作って椅子に座らせてくれる。</p> <p>「先生100億円いきました！」</p> <p>○一つ一つの値段を説明しに来た。</p>
<p>「発表会の準備をしましょう。」</p> <p>「友達の建物の工夫しているところや、よいところをたくさんさがしましょう。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>とうとう立派な建物が勢揃いしたね。新しい惑星もにぎやかになるね。友達の建物に遊びに行こう。 〈活動を促す言葉〉</p> </div>	<p>○2, 3人の友人と一緒にだんボールで発表会の看板を作る。</p> <p>○積み上げた椅子に模造紙を貼り、TPの惑星の近景を写し出し惑星の様子に近づけようとしていた。</p> <p>○友人の作品についての発表を熱心に聞いていた。</p> <p>○自分の作品についての説明をすることができた。</p> <p>○友人の作品のよいところを発表することができた。</p> <p>「先生、道がないから遊びに行けんよ。道をつくっていいですか。」</p> <p>○どんどん道をつくって建物どうしをつなぎ始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>感想 今日やっと完成した。名前は「おじさん村」です。大大大まんぞくです。ちょっとこわれるかもしれないけど多分だいじょうぶ！ドラえもん惑星に建ててきそうです。</p> </div>	<p>○家でピンポン球と針金を使ったアドバルーンと、車「友ちゃん2000号」を作ってきた。</p> <p>「100億円にしてはさみしいな。」</p> <p>○アルミホイルで窓をつくったり、飾りや電球をつくったりしていた。</p> <p>○友人の作品についての発表を、熱心に聞き、身を乗り出すようにして作品を見ていた。</p> <p>○自分の作品の工夫点を発表することができた。</p> <p>「空港をつくろう。」</p> <p>「港もつくろう。」</p> <p>○発泡スチロールで船や飛行機をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>感想 とってもまんぞくした。建物を建て、土につけて、ドアも開けられるようにした。組み立てた。大成功！</p> </div>	<p>○自分や友人の作品をこわさないように大切に並べていた。</p> <p>○作品カードを読んで発表の練習をしていた。</p> <p>○なかよく友人の建物を見にいたり、自分の建物を友人に説明したりしていた。「がんばらうだよ。」</p> <p>○友人の作品についての発表を熱心に聞いていた。</p> <p>○自分の作品についての説明をすることができた。</p> <p>○自分がつくった駅から他の建物へ片面だんボールの線路をつないで伸ばしていった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>感想 今日ぼくは発表するときにもうすぐ緊張した。けれど、おもしろかった。こんどまたおもしろいことをしたいです。</p> </div>

児童の作品



写真1 A児の作品



写真2 A児の作品



写真3 B児の作品



写真4 B児の作品

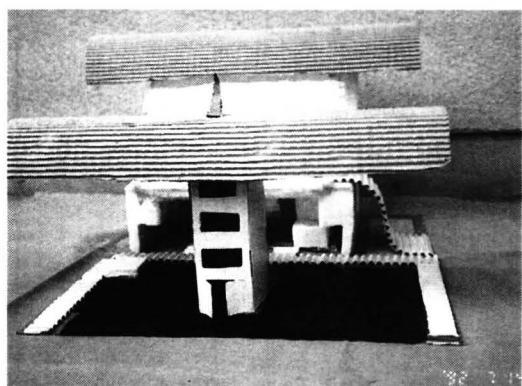


写真5 C児の作品

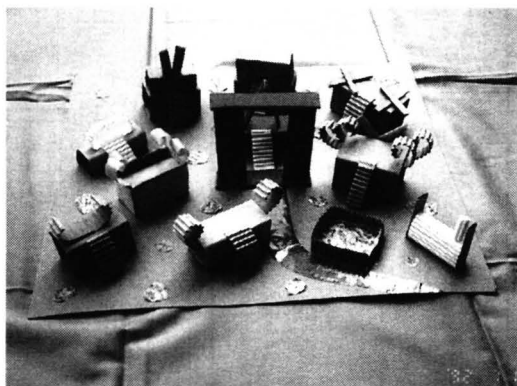


写真6 その他児童作品

4 題材からの考察

題材の実践を通して、提案の言葉と児童の表現活動について考察する。

(1) A児の表現活動について

「出会い」の段階で、TPの惑星の荒涼としたようすから、にぎやかなお店を作ろうと思いついた。「表現」の段階で、お店に必要なものを次々に思いつき、受付、そこにすんでいる人、楽しく遊べるプールと思いが広がっていった。保健委員会のA児はその体験からプールでけがをした人を手当する薬局を作って、自分がそこで働いていることにした。A児の生活体験が反映された表現であると考えられる。(図3 表4 参照)

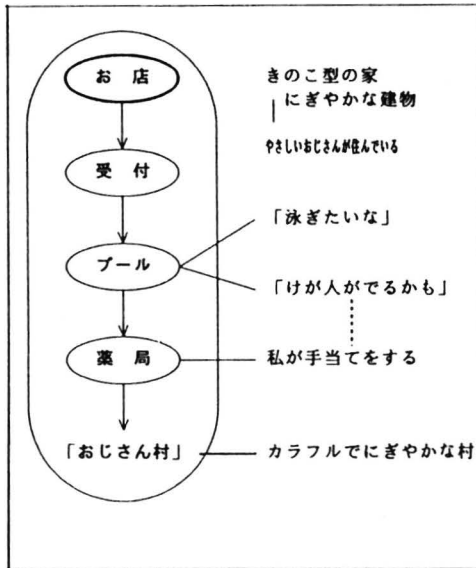


図3 A児の思いの拡がり

＜A児の表現方法の工夫＞	
思いの拡がり	表現方法の工夫
(1) きのご型の家をつくりたい。	カーブしている屋根の部分には、片面段ボールを使って、強度をもたせるために木工用ボンドで接着する。
(2) プールをつくりたい。	最初は青い色紙を貼っていたが、満足せず、碧い色セロハンを用意してくる。プールの透き透きした水面と波の感じをだすために、青いセロハンにのりをつけてしわをつけて貼る。
(3) 薬局をつくりたい。	薬師らしさをだすために白いスチロールパックを組み合わせさせて作り、薬局とすぐわかるように絆創膏をはる。
(4) にぎやかな感じがほしい。	きのご型の家の屋根の片面段ボールの凹凸にのりをつけて4色のマシクで一本一本違う色でストライプをいれる。虹のような色どりにする。
(5) カラフルな建物にしたい	色鉛筆をカッターナイフで削って色の粉を作り、「受付」の屋根や、「地面」にこすりつけて、やわらかな感じをだす。

表4 A児の表現方法の工夫

(2) B児の表現活動について

授業前の材料集めの段階で、乗り物を作りたいと考えていたが、「出会い」の段階で気に入った建物のコピー（「かねじゃ銀行」）を思いつき、建物の展開図を段ボールにかきはじめた。他の児童がどんどん制作を進める中、複雑な展開図に試行錯誤しながらマイペースで楽しんで展開図を作り、成功させた。B児は算数の拡大・縮小の学習の作図が得意であったので、完成まで意欲が持続したと考えられる。この学習で、B児は自分のよさを発揮しながら主体的に表現活動を展開することができたと考えられる。(図4 表5 参照)

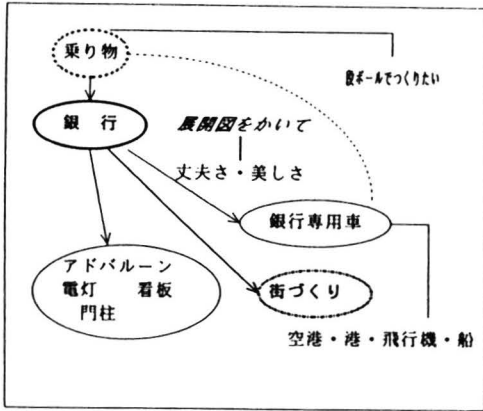


図4 B児の思いの拡がり

< B児の表現方法の工夫 >

思いの拡がり	表現方法の工夫
(1) 丈夫で、きれいな建物にしたい。	できるだけ一面が広い段ボールを探しだし展開図をかく。
(2) 接合をきれいにしたい。	屋根の部分と1階、2階の部分を別々につくり、あとで、組み合わせる方法をとる。
(3) 折り返しの重なりをすっきりさせたい。	4.5度の切り込みをいれる。他の紙で何度も試すうちに、正方形の対角線を切り込むことうまくいくことに気付く。
(4) 目立つ銀行の看板がほしい。	発泡スチロールを切って、アルミホイルで飾る。
(5) 銀行専用車がほしい。「かっこいい車」	発泡スチロールをカッターナイフで削って流線形の車をつくる。つやがみや、アルミホイルで飾る。
(6) 官営用のアドバルーンがほしい。	ピンポン玉に針金を通してつくる。
(7) 「100 億円にしてはさみしい。」	アルミホイルを切って窓を飾ったり、まるめて飾りや電球をつくる。

表5 B児の表現方法の工夫

(3) C児の表現活動について

C児は、表現活動に対して苦手だという先入観をもっている児童である。そのため表現活動に消極的であった。本題材においては「出会い」の段階では「にぎやかなのがいい」という思いをもっていた。「表現」の段階で、材料の発泡スチロールの塊を見つけ、その形を未来の駅に見立てた。手で発泡スチロールを細かくちぎったり、カッターナイフで切ったりなどの操作活動を通して次々に思いが広がっていった。この学習の中で、C児は材料をもとにして思いのままに試みながら意欲的に表現活動していくことができたと考えられる。(図5 表6 参照)

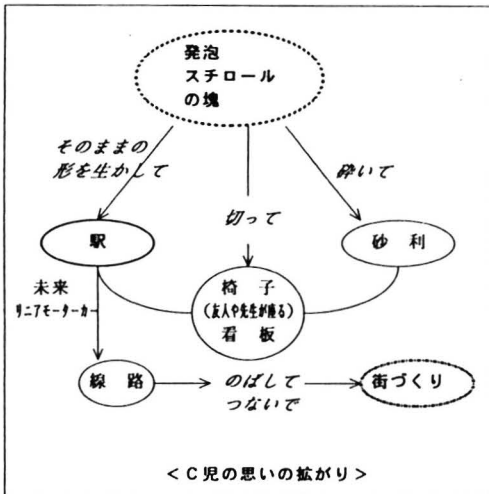


図5 C児の思いの拡がり

< C児の表現方法の工夫 >

思いの拡がり	表現方法の工夫
(1) 未来の駅が作りたい。	大きめの発泡スチロールの塊を数個集めてきて、テーブルに据え思い合う形を選ぶ。
(2) 線路が作りたい。	片面段ボールを帯状に切る。
(3) 砂利石があるといいな。	発泡スチロールを手でこすったり、ちぎったりするうちにそれを砂利石に見立てて、スチロールボンドで貼る。
(4) もっと大きくしたい。	発泡スチロールの箱を2段にして組み合わせる。
(5) 大きな窓がほしい。「太陽を反射する窓」	空き箱に付いていたセロハンを、テントのように斜めに貼る。
(6) 待合室の椅子がほしい。「先生の椅子と、N君の椅子」	発泡スチロールをカッターナイフで板状に切ったものを組み合わせてつくる。
(7) 窓から見えるきれいな芝生がほしい。	何枚か川のはみを丸めて台紙に貼ろうとしたが、きれいに接着できないことから、緑色のセロハンを貼る。

表6 C児の表現方法の工夫

(4) 題材を通しての考察

提案の言葉によって自分にふさわしい表現主題や意図をもって表現活動をするに関しては、児童一人一人がそれぞれに思いを拡げることが可能なキーワードを工夫し、児童に次のような変容がみられた。

・一人一人の児童が、自分なりの感じや思いをもち、それぞれの表現主題をスムーズに決めることができるようになった。

・一人一人の児童の生活体験や興味・関心が反映された表現活動がみられるようになった。

また、提案の言葉によって、表現活動にこだわらせるという点では、操作イメージを鮮明にさせる提案の言葉によって、加工や接着の丈夫さにこだわらせることができた。活動の視点を変える提案の言葉は、児童がそれまでの活動を自ら再考したり、さらに工夫を加えたりすることに有効であった。そして、表現活動にこだわらせる提案の言葉によって、児童が表現方法や材料などを自由に選んだり、思いのままに試したりして表現していく姿がみられるようになった。

表現活動を励ますという点では、一人一人の児童の思いを大切に、その児童に同意し、共感し励ますことによって表現意欲が高まっていった。また、鑑賞の段階で自分や友人のよさや工夫点を話し合い、認め合うことで、作品を大切にするようになった。

これらのことから、提案の言葉を工夫することで、一人一人の児童の視覚的イメージをふくらませ、表現の思いを誘い出すことができたと考えられる。また、表現方法や操作の工夫をしながら、思考、判断を繰り返す表現活動を促すことができたと考えられる。したがって、提案の言葉を工夫することは、児童の主体的な表現活動を誘い出すことに十分な効果があったと考えられる。

注

- 1 D. I. スローピン 宮原英種他訳 「心理言語学入門」 新曜社 1975
pp174-175
- 2 宮協理監修 福田隆真他編集 「新版 美術科教育の基礎知識」 建帛社 1991
p31
- 3 文部省 「小学校図画工作科指導資料指導計画の作成と学習指導」 日本文教出版
1991 p38

参考文献

- ・高岡浩二 「特集2 新教育課程の具体化 教育課程一般」(文部省「初等教育資料」平成2年12月号 収録) 東洋館出版 1990

付記

本稿の作成にあたり、1を福田が担当し、2、3、4を嶋田が担当した。全体のまとめは福田が行った。また教材の実践は福岡県飯塚市立伊岐須小学校で行ったものである。